

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社クボテック様工場	階数	地上2F
建設地	伊勢原市鈴川61番5	構造	S造
用途地域	工業専用地域・防火指定なし	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年6月27日
敷地面積	4,525 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	2,092 m ²	確認日	
延床面積	3,362 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 88%
 ③上記+②以外のオンサイト手法 88%
 ④上記+オフサイト手法 88%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
工場専用地域である申請地の接道部に緑地を設け、近隣のまちなみ形成に配慮した。		
Q1 室内環境 居室に吸音材を使用し、室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 更新間隔の長い建材の使用による建物の維持管理に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー 必要部分に断熱材を設け、建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器の採用により、資源保護に配慮した。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場、駐輪場を設け敷地外駐車場の抑制に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される